

化学品の名称	サスピカットEP-100
作成日	2015年12月31日
改訂日	2016年 6月 1日

## 安全データシート

### 【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称	:	サスピカットEP-100
製品コード	:	Z-0028
会社名	:	日本メカケミカル株式会社
住所	:	愛知県豊川市穂ノ原3丁目2番23
電話番号	:	(0533) 84-3245
緊急連絡電話番号	:	(0533) 84-3245
FAX番号	:	(0533) 84-3429
電子メールアドレス	:	collect@nichi-mecha.co.jp
推奨用途と使用上の制限	:	電解研磨剤

### 【2. 危険有害性の要約】

#### GHS分類

物理化学的危険性	爆発物 可燃性／引火性ガス 可燃性／引火性エアゾール 支燃性／酸化性ガス 高圧ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過氧化物 金属腐食性物質	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分外 分類対象外 分類できない 区分外 分類対象外 区分外 区分外 分類できない 分類対象外 分類対象外 分類できない 分類できない 分類対象外 分類できない 分類対象外 分類できない 区分1 区分1 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分3 (気道刺激性) 分類できない 分類できない 分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口) 急性毒性 (経皮) 急性毒性 (吸入：ガス) 急性毒性 (吸入：蒸気) 急性毒性 (吸入：粉塵) 急性毒性 (吸入：ミスト) 皮膚腐食性／刺激性 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 吸引性呼吸器有害性	分類できない 分類できない 分類対象外 分類できない 分類対象外 分類できない 区分1 区分1 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分3 (気道刺激性) 分類できない 分類できない 分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性・急性 水生環境有害性・慢性	分類できない 分類できない

化学品の名称	サスピカットEP-100
作成日	2015年12月31日
改訂日	2016年 6月 1日

オゾン層への有害性

分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル : 腐食性 感嘆符



注意喚起語 : 危険  
 危険有害性情報 : 重篤な皮膚の葉傷及び眼の損傷  
 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き : **【安全対策】**  
 煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 取扱い後は手などをよく洗うこと。  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
**【応急措置】**  
 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚（又は髪）に付着した場合： 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。  
 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。  
**【保管】**  
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 施錠して保管すること。  
**【廃棄】**  
 内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

【3. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 成分及び含有量

化学名 又は一般名	濃度 (%)	CAS 番号	官報公示 整理番号		PRTR 法	労働安全 衛生法	毒物劇物 取締法
			化審法	安衛法			
りん酸	58~63	7664-38-2	(1)-422		非該当	表示・通知	非該当
無機物	非公開	非公開	既存	既存	非該当	非該当	非該当
水	非公開	7732-18-5	—	—	非該当	非該当	非該当

不純物及び安定化添加物 : 情報なし

【4. 応急措置】

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移す。身体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、必要なら医師の手当を受けること。

化学品の名称	サスピカットEP-100
作成日	2015年12月31日
改訂日	2016年 6月 1日

- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で15分以上洗い流し、必要に応じて医師の手当を受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。水で口の中を洗浄し、速やかに医師の手当を受けること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 : 眼や皮膚に付着すると、炎症を生じることがある。ミストを吸入した場合は、眼、鼻、肺など呼吸器官に炎症を生じる場合がある。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグル等の保護具を着用する。
- 医師に対する特別注意事項 : 現在までのところ有用な情報なし。

#### 【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : 周辺火災時、全ての消火薬剤の使用可。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし。
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、腐食性または毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合の処置は次による。  
1. 容器を安全な場所へ移動する。  
2. 移動不可能な場合は、容器を破損しないように注水し、冷却する。  
3. 消火水や希釈水の流出による汚染に留意する。
- 消火を行う者の保護 : 消防活動の際には風上から行き、防護衣・空気呼吸器・循環式酸素呼吸器・ゴム長靴を着用する。

#### 【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 腐食性。目・皮膚・衣服との接触を避ける。適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出されないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 可能な限り集めて空容器に回収する。乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。必要に応じた換気を確保する。危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

#### 【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

化学品の名称	サスピカットEP-100
作成日	2015年12月31日
改訂日	2016年 6月 1日

- 技術的対策 : 容器を転倒させたり、衝撃を与えるなどの粗暴な取り扱いはしないこと。  
 金属容器での使用は避けること。頑丈なポリエチレン容器を推奨する。  
 使用后、容器は必ず密閉すること。  
 目・皮膚・衣服との接触を避けるため、適切な保護具を着用すること。  
 蒸気の吸入を避けること。  
 取扱い後は、洗顔及び身体を洗浄すること。  
 局所排気装置・全体換気については8. 暴露防止及び保護措置を参照。
- 安全取扱注意事項 : アルカリ類・酸化性物質・アミン類・三塩化リン・塩化ホスホリルとの接触を避けること。
- 保管
- 安全な保管条件 : 異物混入のないよう、密封して保管すること。  
 アルカリ類・酸化性物質・アミン類・三塩化リン・塩化ホスホリルとの同一場所での保管を避けること。  
 直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 別の容器に移し替えるときは、頑丈なポリエチレンを推奨する。金属容器の使用を避けること。

## 【8. 暴露防止及び保護措置】

- 許容濃度 [りん酸] : 日本産業衛生学会（2005年版） 1 mg / m<sup>3</sup>  
 ACGIH（2006年版）  
 TLV-TWA 1 mg / m<sup>3</sup>  
 TLV-STEL 3 mg / m<sup>3</sup>
- 設備対策 : 換気の確保。冷乾燥場所での保管・取り扱いを行う。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 呼吸用保護具
- 手の保護具 : 保護手袋
- 眼の保護具 : 安全ゴーグル
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣・顔面シールド

## 【9. 物理的及び化学的性質】

- 外観 : 無色透明液体
- 臭い : 無臭
- 臭いのしきい（閾）値 : データ無し
- pH : 1以下
- 融点・凝固点 : データ無し
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : 非該当
- 引火点 : 非該当
- 蒸発速度 : 非該当
- 燃焼性（固体、気体） : 非該当
- 燃焼又は爆発範囲（上限、下限） : 非該当
- 蒸気圧 : 非該当
- 蒸気密度 : 非該当
- 比重（15℃） : 1.54 g / cm<sup>3</sup>
- 溶解度 : 水に可溶
- n-オクタノール／水分配係数 : 非該当

化学品の名称	サスピカットEP-100
作成日	2015年12月31日
改訂日	2016年 6月 1日

自然発火温度 : 非該当  
 分解温度 : データ無し  
 粘度 (15℃) : 18 mPa・s

### 【10. 安定性及び反応性】

反応性 : 塩基と激しく反応する。  
 金属を侵す。  
 化学的安定性 : 安定  
 危険有害反応可能性 : 適切に保管し、取り扱いえば有害反応は起きない。  
 避けるべき条件 : 燃焼  
 混触危険物質 : アルカリ類・酸化性物質・アミン類・三塩化リン・塩化ホスホ  
 リル  
 危険有害な分解生成物 : 燃焼時に分解してリン化合物の有毒ガスを発生する。

### 【11. 有害性情報】

急性毒性 [りん酸] : LD<sub>50</sub> 1, 250 mg/kg (ラット経口)  
 LD<sub>50</sub> 2, 740 mg/kg (ウサギ経皮)  
 LC<sub>50</sub> 0.85 mg/L以上/1h (ラット吸入)  
 皮膚腐食性/刺激性 : [りん酸] 区分1A-1C  
 眼に対する重篤な損傷/眼刺  
 激性 : [りん酸] 区分1  
 呼吸器感作性 : [りん酸] 分類できない  
 皮膚感作性 : [りん酸] 分類できない  
 生殖細胞変異原性 : [りん酸] 分類できない  
 発がん性 : [りん酸] 分類できない  
 生殖毒性 : [りん酸] 分類できない  
 特定標的臓器/全身毒性 (単回  
 ばく露) : [りん酸] 区分3 (気道刺激性)  
 特定標的臓器/全身毒性 (反復  
 ばく露) : [りん酸] 分類できない  
 吸引性呼吸器有害性 : [りん酸] 分類できない

### 【12. 環境影響情報】

生態毒性 : (水生環境有害性・急性)  
 [りん酸] 分類できない  
 (水生環境有害性・慢性)  
 [りん酸] 分類できない  
 残留性/分解性 : 現在までのところ有用な情報なし。  
 生体蓄積性 : 現在までのところ有用な情報なし。  
 土壤中の移動性 : 現在までのところ有用な情報なし。  
 オゾン層への有害性 : [りん酸] 分類できない  
 他の有害影響 : 排出規制 (pH・COD・BOD・リン)

### 【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し  
 て処理する。投棄禁止。

化学品の名称	サスピカットEP-100
作成日	2015年12月31日
改訂日	2016年 6月 1日

汚染容器・包装 : 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。投棄禁止。

#### 【14. 輸送上の注意】

##### 国際規制

国連番号 : 3264  
品名 : その他の腐食性物質 [無機物、液体、酸性のもの (リン酸)]  
国連分類 : クラス8 (腐食性物質)  
容器等級 : III  
海洋汚染物質 : 非該当  
MARPOL 73/78 附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 : 非該当

##### 国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法に従い、積載・輸送を行う。  
航空規制情報 : 航空法に従い、積載・輸送を行う。  
陸上規制情報 : 非該当  
特別の安全対策 : 容器毎に、栓の締まり具合、漏れの無い事を確認し、容器の転倒・落下・摩擦等損傷が無い様に積み込み、荷崩防止を確実にを行う。

#### 【15. 適用法令】

労働安全衛生法 : 労働安全衛生法施行令  
名称等を表示すべき危険物及び有害物 (りん酸)  
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (りん酸)  
船舶安全法 : 危険物船舶輸送及び貯蔵規則  
航空法 : 航空機による爆発物等の輸送基準等を定める告示  
水質汚濁防止法 : 排水基準を定める総理府令  
下水道法 : 施行令  
廃棄物の処理及び清掃に関する法規 : 産業廃棄物規制

#### 【16. その他の情報】

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。